

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 26 年 8 月 15 日

所属部局・職	野生動物研究センター・修士課程学生
氏名	田中 美帆

forbased

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)

新潟県 妙高高原 京都大学笹ヶ峰ヒュッテ

2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)

笹ヶ峰実習

3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)

平成 28 年 7 月 29 日 ~ 平成 28 年 8 月 1 日 (4 日間)

4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)

京都大学教授 幸島司郎先生、静岡大学准教授 杉山茂先生 京都大学特定助教 滝澤玲子先生

5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果: 長さ自由)

写真 (必ず 1 枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの) の説明は、個々の写真の直下に入れること。
別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。

笹ヶ峰実習は、京都大学笹ヶ峰ヒュッテ (新潟県妙高市: 標高 1300m の高原) において、生物観察や火打山 (標高 2462m) 登山、夜間のビバーク体験 (戸外での緊急露營) を通して、フィールドワークの基礎となるサバイバル技術を学ぶことを目的として行われた。天候にも基本的には恵まれ、4 日間の行程をきちんと体験することができた。また、火打山にみんなで挑戦したことで、普段はとれないようなコミュニケーションがとれ、団結することができたように思う。

行程

7 月 29 日: 到着、周囲の散策
30 日: 涸沢トレッキング、地図読み・ロープワーク講習
31 日: 火打山登山、(ビバーク実習)
8 月 1 日: ビバーク実習、清掃

周囲の散策や涸沢トレッキング、火打山登山など、元登山部員の先生方に高山植物について教えていただきながら、毎日自然の中を歩きまわることができた。

ミズナラ、ブナ、アオモリトドマツ、エンレイソウ、キヌガサソウ、カニコウモリ、オオカメノキ、フキ、ナナカマド、トリカブト、ウルシ、ギンリョウソウなど

実際に起きた遭難事故のお話からどのようにしていたら事故が回避できたのか、またフィールドワークにて便利な豆知識など、随所に教えていただいたことで、サバイバル技術の必要性を実感することができた。また個人的に GPS を持って行っていったことから、GPS の使用方法についても実践することができ、フィールドワークの基礎を体験することができたと思う。



火打山標高

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

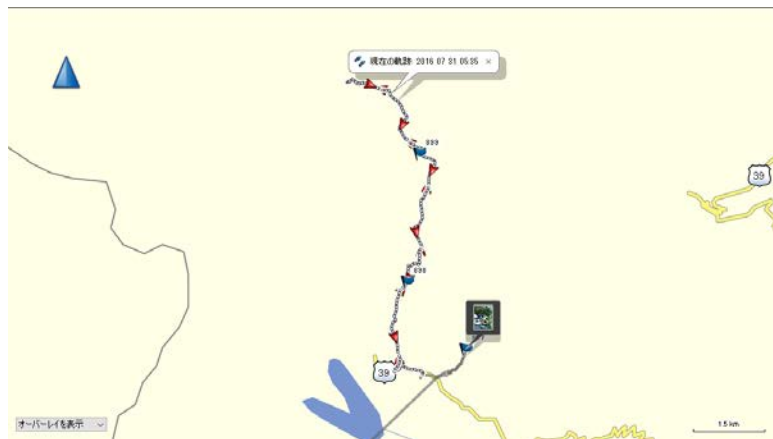
(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)



地図読み実習



火打山登山 天狗の庭



京大ヒュッテから涸沢トレッキングと火打山までの軌跡

6. その他 (特記事項など)

この実習は PWS の支援によって執り行われました、また引率して下さった京大幸島教授、静岡大杉山準教授、京大滝澤特定助教には深くお礼申し上げます。